

メイトルのつばやき No.4



《「ヘブライ語」はどんな言語？》

「出身はどこですか？」
私は2年程前、初めて日本に着いた時、この質問をよくされました。

「イスラエルから来ました」と私は答えました。名古屋大学留学中は多くの留学生と一緒に学んでいました。そして、様々な場面で自国について発表する機会がありました。

「イスラエルってどんな言語なのですか？」

「ヘブライ語ですよ」

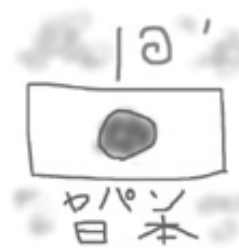
「ヘブライ語ってどんな言語なのでしょうか」...。今回は、私の母国語「ヘブライ語」についてお話ししたいと思います。

ユダヤ人がヘブライ語という言語を使用してから3000年以上が経ちます。紀元70年にローマ帝国により中東に位置しているユダヤ国が滅ぼされ、ユダヤ人は世界各地に散らばりました。多くのユダヤ人たちは、それぞれの土地でユダヤ教を守り、ユダヤ民族のアイデンティティを守りました。そして、その土地でコミュニティーを作り自分たちの伝統的な生活を続けていましたが、日常の会話はその国の言語を使いました。毎週土曜日はユダヤ教会堂（シナゴグ）へ行き、ヘブライ語の祈禱文を読みました。ヘブライ語が日常で使われなくなった時代も、ヘブライ語による著述活動は約2000年間途切れることなく続けられていました。古代の聖書はヘブライ語で書かれており、「聖なる言葉」、すなわち「神の言語」という名前で知られていました。こうしてヘブライ語は数千年もの間、ユダヤ人にとって宗教用語として守られてきました。

20世紀に入り、ヘブライ語が現代ヘブライ語へ再生され、日常語として復活しました。19世紀にロシアからイスラエルへ移住したエリエゼル・ベン・イエフダー（1858-1922）は、ヘブライ語を日常語として使うことを実際に行なった人物であり、ヘブライ語復活に大きな役割を果たしました。彼の貢献は主に語彙の面におけるものであり、使われなくなっていた単語を文献から探し出したり、新語を作ったり、現代的な概念を表すことができるようにしました。現代ヘブライ語はヘブライ語で「イブリット」と呼ばれています。1948年にイスラエルは建国され、それからヘブライ語はイスラエルの公用

語の一つとなりました。一度日常語として使われなくなった古代語が再び復活して実際に話されるようになったのは、歴史上このヘブライ語だけです。

ヘブライ語の特徴は、ヘブライ語の文字は右から左に読みます。最初は戸惑うかもしれませんが、慣れたら簡単です。例えば、「イスラエル」:「ルエラスィ」、「日本」:「ンパヤ」です。そして、ヘブライ語のアルファベットの22文字は全て子音なので母音記号（ニクダー）を合わせます。このようにすると、ヘブライ語の文字を簡単に読むことができます。実際、イスラエルでは一般



にニクダーがついていない文が書かれます。そして、22の文字は二つの種類に分けられます。筆記体の文字と活字体の文字です。

来年の2月から初級者向けのヘブライ語講座を開講します！とても長い歴史を持っている言語です。是非一緒に勉強しませんか！期間は2月から6月までで、全20回です。昼間コースと夜間コースが行われる予定です。一緒に、楽しくヘブライ語の特徴・自己紹介・挨拶・簡単な文法などを学びませんか！それだけでなく、一緒にヘブライ語で簡単な日常会話をして、イスラエルの文化・習慣に触れてみませんか！ヘブライ語は日本語に比べると全く違います。だからこそ面白いのではないかと私は思います。興味を持っている方は1月に配られる「お知らせ版」をご覧ください！

Yod	Tet	Chet	ayin	Yer	He	Dalet	Qamats	Shet	Aluf
(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
Ayin	Kamats	Mem	Mem	Mim	Mim	Lamed	Kaf	Kaf	
(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	
Tav	Shin	Kaph	Qaf	Tzadeh	Tzadeh	Pe	Pe		
(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)	(27)		